CS こひつじ科礼拝式次第

2023 年 3 月 5 日　午前 9 時 30 分

２０２３年度年間テーマ：「主イエスの教えに聞き従うものになろう」
テーマ曲：ワワワいっしょに（９２番）
暗唱聖句：「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」
マタイによる福音書７章１２節

１０、ことりたちは（こどもさんびかをお用いください）

おいのり　礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしょ　マタイによる福音書 7 章 1 節～12 節

「人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。兄弟に向かって、『あなたの目からおが屑を取らせてください』と、どうして言えようか。自分の目に丸太があるではないか。偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からおが屑を取り除くことができる。神聖なものを犬に与えてはならず、また、真珠を豚に投げてはならない。それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたにかみついてくるだろう。」
「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

おはなしとおいのり　「神様とともにいきる喜び」　森川莞太先生

■おはなし
おはようございます！皆さん元気に過ごしておりますでしょうか？
あっという間にもう 3 月となり、あと 1 か月で幼稚園や学校でも学年が 1 つ上に上がりますね！
段々春に近づき暖かくなってきたものの、体調をくずすことがないよう、引き続き手洗いうがい、十分な睡眠をとり、好き嫌いせず食べて、健康に気をつけて過ごしましょう。
今日の聖書箇所は「マタイによる福音書 7 章 7~12 節」です。読んでみましょう。

みなさんはふだん神様にお祈りすることはありますか？朝起きた時、ご飯を食べる時、寝る前、嬉しいことがあったとき、悲しいことがあったときなどいろいろな場面があるでしょう。礼拝の際に、大きな声で「主の祈り」を唱えている子もいらっしゃいますね。まだ、ひとりでお祈りするのは難しい、恥ずかしいと言う様に考える人もいるかもしれません。
みなさんはさんびかを歌うことは好きですか？好きで覚えている子供さんびかはあるでしょうか？最近はコロナの影響もあり、みんなで集まって歌うことは難しい状況ですが、約 3 年前は小礼拝堂に集まり、

大きな声でみんなでさんびかを歌っていましたね。

このように私たちは生きていく中で、神様にお祈りをしてお話しする、さんびかを歌って喜びを伝えるなど自然のうちに、神様と向き合う、神様と共にいる時間を過ごしています。
神様はというと、そんな私たちを常に見守っていてくださり、寄り添い助け、恵みを与えて下さいます。とてもやさしく大きな存在ですね。そんな神様が私たちと一緒にいてくださると考えると、本当に嬉しい気持ちや安心する気持ちになれます。
今日の聖書箇所の７節にもあるように、「”求めなさい”、”探しなさい”、”門をたたきなさい”」と神様と共に生きていくために祈り求めることで、必ず神様は答えてくださいます。
そして神様とキリストにあって生きていくことで、自分以外の人にも優しくなれたり、愛を与えることができるようになります。自分がしてほしいなと思う事も自然とできるようになっていきます。神様に依りたのみ生きていくことでより豊かな人生になっていくのです。それほど神様には大きな力があります。
これからも神様と一緒にいられるように祈り求めていきましょう。必ず求めた先には、神様が一緒にいてくださいます。

■おいのり
神様、今日もあなたのみことばを聞くことができ感謝いたします。日々の生活の中で良いことばかりではなく、嫌なことや苦しいことがあったりもしますが、あなたを信じ、求め生きていくことができますように。共に神様と一緒に歩むことができるように私たちを強めてください。体調に気を付けて、信仰生活を送ることができますようにお守りください。主イエス・キリストのみなによってお祈りいたします。アーメン。

⁂　小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂２階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

９５、主の喜びが心にあれば（こどもさんびかをお用いください）